

第41回測量調査技術発表会

公益財団法人日本測量調査技術協会（以下、測技協）は、第41回測量調査技術発表会を、2019年8月2日に開催いたしました。本発表会での基調講演および特別講演と、各発表に基づき執筆された論文および技術報告等を本誌でご紹介いたします。

日 時：2019年8月2日（金）10：05～17：45

場 所：新宿区立四谷区民ホール（東京都新宿区）

参加者：299名（測量および設計CPD発行289名（参加）、
測量CPD 13名（発表）、21名（受賞））

測技協では、会員企業の先端技術に関する発表を中心に、業界を取り巻く様々な情報提供の場として「測量調査技術発表会」を毎年開催しております。

第41回は、計測技術を離れた話題提供として、東京工芸大学芸術学部 大島 武 教授をお迎えした特別講演『相互理解を深めるコミュニケーション技術』、国立研究開発法人海洋研究開発機構付加価値情報創生部門 堀 宗朗 部門長による基調講演『インフラデータから衛星データを利用する都市の丸ごと地震シミュレーション』、13編の技術発表及び測技協技術部会等活動報告という盛りだくさんの内容で開催いたしました。また、優秀技術論文、優秀発表賞、測量成果品質管理優良賞の表彰式（トピックス参照）を行いました。



■ 発表内容

特別講演			
1	相互理解を深めるコミュニケーション技術	東京工芸大学 芸術学部	教授 大島 武
技術発表			
2	スリナム国電力GISデータ作成業務について	株式会社バスコ	磯部 浩平
3	GISとOCRを活用した応急危険度判定の取り組み	アジア航測株式会社	渡部 雄太
4	AIを用いた写真判読について	朝日航洋株式会社	布施 健
5	SARデータによる農地の被害状況把握マップの作成 ーSARデータ分析チャレンジを通じた取り組み紹介ー	ESRIジャパン株式会社	櫻井 洋祐
6	空間構造特性としての路地推定の試み	株式会社東京地図研究社	谷口 亮
7	密集市街地の狭隘道路の実態調査の方法	株式会社日野	梅賀 亮太
8	可搬ポート型マルチビーム測深機「CARPHIN-V」による水中三次元計測	中日本航空株式会社	城下 奨
9	ALB 3次元点群データの河川管理活用に向けた現状及び課題	株式会社バスコ	山本 達也
10	UAVレーザシステム「TerraLiDAR」のIMU複合による高精度化	Terra Drone株式会社	塩澤 駿一
11	蛇行式航空レーザ計測方法の解析手法の開発	国際航業株式会社	前橋 尚弥
12	BIM/CIMに用いる3次元計測方法の検証	株式会社日本インシーク	周 媛媛
13	測量手法の多様化によるシームレスな点群データの取得	株式会社フジヤマ	田邊 真
14	三次元ハイブリッド地図による工場管理	アジア航測株式会社	国田 大策
基調講演			
15	インフラデータから衛星データを利用する都市の丸ごと地震シミュレーション	国立研究開発法人海洋研究開発機構 付加価値情報創生部門	部門長 堀 宗朗
測技協 技術委員会 技術部会等 活動報告			
16	ISO/TC 211への取組み ～第49回大宮総会に向けて～	測技協GISセンター	津沢 正晴 迫田 航
17	GIS部会活動報告及びBIM/CIM WG活動について	測技協GIS部会	中野 崇 (国際航業株式会社)
18	国土管理・コンサル部会活動報告 「頻発した2018年災害における空間情報取得と活用」	測技協 国土管理・コンサル部会	下村 博之 (株式会社バスコ)
19	国土管理・コンサル部会活動報告 ドローンWG活動報告	測技協 国土管理・コンサル部会 ドローンWG	小林 雅弘 (アジア航測株式会社)

■特別講演

「相互理解を深めるコミュニケーション技術」

東京工芸大学 芸術学部 大島武教授は、パフォーマンス（自己表現）や情報社会における諸問題とその対処に関する研究に取り組まれ、コミュニケーション・プレゼンテーション関連の講演・セミナーを年間70回程度されています。ステージと客席を縦横無尽に利用した講演パフォーマンスと、わかりやすいプレゼンテーションは「この業界に今、最も必要な“専門外知識”である。」など、非常に有意義な講演であったとの感想を多くいただきました。



大島 武 教授

■基調講演

「インフラデータから衛星データを利用する都市の丸ごと地震シミュレーション」

国立研究開発法人海洋研究開発機構 付加価値情報創生部門 部門長 堀 宗朗による基調講演では、地震シミュレーションの現状を紹介していただき、特にインフラデータと衛星データを使う地震シミュレーションの将来構想について概説されました。堀氏は応用力学や計算力学がご専門で、その知識や経験を生かした形で、数値解析に基づく都市モデル適用による地震被害予測手法開発への取り組みについてわかりやすく話されました。また最後に、現在内閣府による戦略的イノベーション創造プログラム（国家レジリエンスの強化）のPDをなされており、その話にも触れられました。



堀 宗朗 氏